

## 行田市未来会議(第2回 ものづくり大学生) 開催結果

対象者 ものづくり大学の学生 9名(うち7名行田市在住、うち1名行田市出身)

日時 令和6年2月8日(火)17時00分~18時25分

場所 ものづくり大学 大学本部2階 会議室

**質問1** 皆さんが将来大人になったとき、行田市がどのようなまちになっていけばよいと思うか。どのようなまちになっていけば、行田市に住みたいと思うか。

・忍城址やさきたま古墳など観光資源が豊富にあるが、若者があまり魅力を感じることができていないように思う。もう少し工夫して施策を展開したらよいと思う。

・JR行田駅の周辺にコンビニやカフェなど休憩ができる店舗がほしい。賑わいや活気がなさすぎる。

・子育て世帯が遊べるスポットが市内にあまりないように感じるので、充実させた方がよいと思う。

**質問2** どのような条件が整えば、行田市に住み続けたい、又は移住したいと思うか。

・行田市は都心部や県南と比較して家賃が安いと思うので、就職後の勤務先がある程度の距離であれば住み続けてもよいと思う。

・JR線各駅への交通アクセスをさらに向上させる必要があると思う。

・災害が少なく安心して住み続けることができることをもっとPRしたらよいと思う。

・行田市に住み続けた場合に給付金を支給するなどのインセンティブを設けるとよいと思う。

・遊戯施設(ゲームセンター等)が付近に少ないため、充実させたほうがよいと思う。

**質問3** 行田市内で生活する上で不足していると感じること、不便に感じていることは何かあるか。

・徒歩圏内に店舗が少ないため、自動車がないと生活できない。

・自転車が車道を安心して通行できるように、整備してほしい。車の運転手も自転車が車道を走っている場合に安全に通行できるよう常に意識をしてほしい。

・自転車で移動する際、郊外には田畑が多く、街灯や転落防止策が少ないため不安である。

・街路樹の根で歩道の舗装が損傷しており、安全に通行できるよう整備されていない箇所がある。

・市街地に駐車場が少ない。パン屋やクレープ屋など魅力ある店舗があっても容易に立ち寄れない。

**質問4** 行田のまちなかに関心があることや実施したらよいと思うことは何かあるか。

・歩いてまちを散策してもらうために、歩数に応じてポイントやお店のクーポンが発行される歩数計アプリを開発するとよい。

・若い人向けに魅力のある(飲食店などの)店舗の情報を一元化したものがほしい。

・各地域の子どもが子どもたちだけで集まれる場所(公園以外)があるとよい。

・行田の自然を生かした子どもの遊び場があると体力が培われてよいと思う。

・ビンカンなど資源物の収集日・集積所やそれらの情報を得る方法もわからない。

・普段の連絡手段はラインでなく、インスタのダイレクトメッセージであるため、行政情報をLINEで得ることはあまりない。